

関西哲学会第 76 回大会プログラム

日時：2023 年 10 月 21 日（土）、22 日（日）
場所：関西大学 千里山キャンパス 第3学舎

【第 1 日目】 10 月 21 日（土）

受付開始 9:30 より

個人研究発表（D302 教室）

- 1 10:00-10:45
情報、命題、モデル、観念
榎本啄杜（京都大学）
司会 久木田水生（名古屋大学）
- 2 10:50-11:35
ウィトゲンシュタインの「神話体系」——フロイト批判の解釈を手掛かりに
木本蒼（京都大学）
司会 西村正秀（滋賀大学）
- 3 11:40-12:25
スピノザにおける「人間」の解釈史とその問題
佐々木晃也（大阪大学）
司会 稲岡大志（大阪経済大学）

委員会 12:30-13:30（D502 教室）

個人研究発表（D302 教室）

- 4 13:35-14:20
芸術論は「自覚」に何をもちたか
—『芸術と道徳』における芸術表現としての「自覚」捉え直しの意義
竹内彩也花（京都大学）
司会 加國尚志（立命館大学）
- 5 14:25-15:10
和辻哲郎の風土概念に対する「旅行者」の意義
田島淳之介（関西学院大）
司会 竹内綱史（龍谷大学）

- 共同討議 15:15-17:45（D302 教室）
スピノザ再考 日本語版全集刊行を機縁として
松田克進（龍谷大学）
平尾昌宏（立命館大学）
司会 中畑正志（仮）（京大名誉教授）

会員交流会 18:00-19:30（D401 教室）

（※以前のような酒食を提供する懇親会に代わり、会員間の議論と交流のために、一日目の発表終了後、会員控室（D401）を開放します。簡単なお茶とお菓子のみ提供します。事前の予約や料金は不要ですので、奮ってご利用下さい）

【第2日目】 10月22日(日)

受付開始 9:30 より

個人研究発表 (D302 教室)

- 6 10:00-10:45
ハイデガーはなぜ言葉の多義性を重視するのか——四義性 (Vierdeutigkeit)・不可思議な促し (Ratsal)・時間の第四次元 (die vierte Dimension der Zeit)
貫井隆 (学振特別研究員)
司会 松本啓二郎 (大阪教育大)
- 7 10:50-11:35
カントは有徳な無神論を可能と見なしたか?
福田喜一郎
司会 長田蔵人 (明治大学)
- 8 11:40-12:25
プラトン『ポリティコス』291d-303bにおける法律批判について
藤井宏 (神戸大学)
司会 早瀬篤 (京都大学)

編集委員会 12:30-13:30 (D502 教室)

総会 13:35-14:05 (D302 教室)

個人研究発表 (D302 教室)

- 9 14:10-14:55
フィヒテ『知識学の概念』における「循環」と「円環」の差異について
嘉目道人 (大阪大学)
司会 竹島あゆみ (岡山大学)
- 10 15:00-15:45
ニーチェを模倣するバタイユ —バタイユの「演劇化」概念をめぐる—
若杉直人 (立命館大学)
司会 吉永和加 (名古屋市立大)

ワークショップ 16:00-18:00 (D302 教室)

人工知能と人類の変容

高橋恒一 (理化学研究所)
長谷敏司 (SF 作家)
久保明教 (一橋大学)
コーディネイター 久木田水生 (名古屋大学)

(※ワークショップに関してのみ、オンライン配信も致します。配信にはズームウェビナーを使用する予定です。ウェビナーの参加には事前の申し込みが必要です。申し込みフォームの URL は学会ホームページ (<http://kantetsu.org/>) で10月1日以降に公開します。希望される方はそこからお申し込みください。非会員の方も視聴可能です。)